



総務常任委員会

総務常任委員会に審査の付託された議案は21年度一般会計補正予算(4号)と、21年度生保内財産区特別会計(3号)の2議案、継続審査中の陳情2件である。

■平成21年度一般会計補正予算

民生費国庫補助金

問 子育て応援特別手当交付金(歳入2、443万円)の支出内容は。

答 21年3月末現在で3歳から5歳の子供全員に手当金を交付するもので、基準日を10月1日とし受付開始6ヵ月以内に1人当3万6千円を支給するもの。

※この歳入について国・政府は10月16日の閣議で凍結を決定、事業が見送られる事となった。

国庫支出金

問 地方の元気再生事業委託金の歳入1、952万円は、政権交代により2次補正の凍結を打ち出



乗車促進の西明寺地区乗合タクシー

しているが、その可能性はないのか。
答 この事業については、9月始めに東北運輸局の担当から、21年度事業の未執行事業について執行停止の可能性があるので、早く国と委託契約できないかと連絡があった。しかし、9月議会の補正予算として提案するよう進めており、予算が議決にならないと委託契約は結べないと回答している。その後の経緯は定かでないが執行停止の可能性が出てくるかも知れない。

農林水産業費補助金

問 就農支援施設導入事業費補助金、歳入2、344万円は具体的な対象者があって予算措置したものか。

答 この事業は失業者が就農する場合に対象となるもので、実際に対象者を見込んでいた。内容としては菌床椎茸を行うためのパイプハウス設備に対して、導入費用の1/2を補助するものである。

地方の元気再生事業

問 この事業は内陸線の元気再生を図ると言うこ



菌床椎茸パイプハウス設置予定地

とで、上松木内駅と紙風船館、八津駅とたたくり館を「道の駅」的に考えているようだが、駅と施設のアクセスをどのように考えているのか。

答 この事業に提案しようとしたきっかけは、秋田内陸線が抱えている、平成22年度まで赤字額を2億円以内までの圧縮、24年度まで利用者数を44万人から60万人まで増やさなければならぬこと、そのためには内陸線が沿線地域に果たす役割をもう一度考える。内陸線に目を向けるきっかけを作ること早急にしたければならなかったのが

最大要因である。

課題は内陸線を活用することにあるので、その促進のためにこの事業では地域づくりを行うことに重点を置き取り組んでいきたい。

■平成21年度生保内財産区特別会計補正予算

財産収入

問 250万円の財産収入の内容は。

答 東北地方整備局が北松木内川(生保内)の十丈の滝下流に砂防ダム建設が計画されて、それに関する土地と立木を売却す



北松木内川下流から望むイヌワシの住む駒ヶ岳山麓

ものである。
問 北松木内第一砂防ダム建設の年度計画はどうなっているのか。

答 平成21年度は土地買収と作業道取り付け工事、22年度に本体工事の予定で、工事期間はイヌワシ営業地の近くなので、産卵繁殖期に影響の少ない7~10月頃の工事を予定している。

問 作業道整備58万円の内容は。

答 7月19日の豪雨により山居地区作業道の一部損壊カ所があり、その修復のための費用である。両議案とも全会一致で可決すべきものと決定した。